

simple225



## ご注意ください

本書の著作権は、著者川俣修一にあります。本書のすべての内容は、日本の著作権法等によって保護されています。川俣修一が事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。著作権の侵害につきましては、著作権法第119条などの罰則がありますのでご注意下さい。

### 著作権法第119条

著作権、出版権又は著作隣接権を侵害した者（第30条第1項（第102条第1項において準用する場合を含む。）に定める私的使用の目的をもって自ら著作物若しくは実演等の複製を行った者、第113条第3項の規定により著作権若しくは著作隣接権（同条第四項の規定により著作隣接権とみなされる権利を含む。第120条の2第三号において同じ。）を侵害する行為とみなされる行為を行った者、第113条第5項の規定により著作権若しくは著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者又は次項第三号若しくは第四号に掲げる者を除く。）は、十年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

1 次の各号のいずれかに該当する者は、五年以下の懲役若しくは五百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

一 著作者人格権又は実演家人格権を侵害した者（第113条第三項の規定により著作者人格権又は実演家人格権を侵害する行為とみなされる行為を行った者を除く。）

二 営利を目的として、第30条第1項第一号に規定する自動複製機器を著作権、出版権又は著作隣接権の侵害となる著作物又は実演等の複製に使用させた者

三 第113条第1項の規定により著作権、出版権又は著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者

四 第113条第二項の規定により著作権を侵害する行為とみなされる行為を行った者

配布、使用に関しての要望は [ooksyuu@gmail.com](mailto:ooksyuu@gmail.com) までご連絡ください。

---

このレポート上に書かれている [URL](#) はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader を無料でダウンロードしてください。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

---

Copyright©2018 Shuichi KAWAMATA All Right Reserved

# 目次

1. 日経 2 2 5 寄り引けロジック・ド S . . . . [4](#)
2. SIMPLE IS HARD (利益のためのバリエーション) . . . . . [6](#)
3. 日経 2 2 5 寄り引けロジック・ド SM . . . [7](#)
4. ド S とド M の転換点 . . . . . [9](#)
5. ド SM の成績 . . . . . [12](#)
6. ド SM をどう運用するか . . . . . [14](#)
7. 途中決済のサイン . . . . . [18](#)
8. ド S/ド M 転換の実際 . . . . . [22](#)
9. トレードの実際 . . . . . [34](#)

# 1. 日経225寄り引けロジック・ドS [→目次](#)

225入門書「[225でシンプル投資を始める](#)」の中でお伝えしましたように、私の推奨する日経225先物取引におけるシンプルトレードは、デイトレードであり、しかも寄り引けの取引であることを述べました。

そこで、毎日朝8:45の寄り成りでエントリーする際に、「買い」なのか「売り」なのかそこが最大の課題となるわけです。

その売買サインを毎日配信するだけで商売が成り立つくらいです。(わたしの「ロジックS」もその一つと言えます。)

225売買ロジック「ドS」は、これ以上ないくらいシンプルなので、

Super Simple (=ドS)と名付けました。

たった1行で説明できてしまうのですから、Super Simpleです。

これです。

↓

毎朝、**買いのみ**でエントリー。引けで決済。

これだけです。

専門家ならば、笑ってしまうほどのシンプルロジックでしょう？  
恥ずかしげもなく

「ロジック」などと言っていますが、  
しかし、これでちゃんと稼げたのです。

ただし、いつまでもこんな簡単なロジックが  
効果を発揮し続けることはありませんでした。  
下の表を御覧ください。

月	成績
H26.9月	200
10月	180
11月	-460
12月	170
H27.1月	1055
2月	20
3月	200
4月	315
5月	600
6月	270
7月	515
8月	-990
9月	-1290
10月	335
11月	675
12月	-745
H28.1月	-1335
2月	-705

効果があったのは、私がこのロジックに気づき  
データを取った H26~H27 の約 1 年くらいだったようです。  
H27 年の夏と年末、H28 年の 1, 2 月に  
このロジックは大きなマイナスを経験しました。

それをきっかけに、私は新しい 2 つのロジックを見出しました。

## 2. SIMPLE IS HARD（利益のためのバリエーション）

[→目次](#)

1つ目のロジックは、  
確実に利益を得るために、「超」をあきらめることでした。  
Simple is Bestですが、Simple is hard. なのです。  
具体的には、以下の3つの方法です。

- |                  |
|------------------|
| 1 途中決済           |
| 2 途中決済+ドテン引成     |
| 3 途中決済+ドテン+MM 決済 |

### 1 途中決済

買いエントリーしたものの、反対方向（下げの方向）に行ったと判断した時に思い切って決済するやり方です。

### 2 途中決済+ドテン引成

途中決済で終わらずに、即座にドテン売りして引成注文を出します。

### 3 途中決済+ドテン引成

途中決済で終わらずに、即座にドテン売りして、さらに途中決済します。

これらの手法は、朝の10分間の作業だけとはいきません。やり方にもよりますが、下手すると一日中パソコンから離れられません。その代り、利益は安定して確保できます。

詳細は、[第7章](#)で説明しています。

### 3. 日経225寄り引けロジック・ドSM [→目次](#)

さて、「ドS」の弱点をカバーするロジックのもう1つが、「ドSM」です。  
「ドS」+「ドM」だから「ドSM」です。

「ドS」がH27年から28年にかけての時期にマイナスが続いたということは、その時期、真逆に「毎日売リエントリーすれば良いのではないか」と考えたわけです。

毎朝、売りのみでエントリー。引けで決済。

単純に「ドS」の真逆なので  
このロジックを「ドM」と名付けました。

これまた下品な響きですが、覚えやすいのでお許してください。

この「ドS」と「ドM」を交互に実践していくロジックが「ドSM」なのです。  
純粹な寄り引けロジックなので、正真正銘のシンプルロジックです。

ドSのデータはH26年9月から取ることができ、  
1日あたりの成績は、今（H30年4月）までの所、およそ+3  
であるのに対して、

ドSMのデータはH27年4月から取ることができ、  
1日あたりの成績は、今までの所、およそ+15  
となっております。

月に換算すれば、+30です。  
ミニ1枚を10万でトレードすると考えて月利30%、  
安全を考えて20~30万で運用しても  
10%以上の成績です。

いかに「使える」ロジックかということがわかると思います。





## 4. ドSとドMの転換点

[→目次](#)

さて、問題はどの時期にドSでどの時期にドMにするのかということです。

きわめて重要な部分です。

### 1 転換点を見極める方法

- 1 週足チャートで判断する。
- 2 [移動平均線](#) (MA) と [MACD](#) で判断する。

### 2 チャート設定

- ・日中チャートの週足を使います。
- ・設定値は推奨（デフォルト）のものでOKですが、  
私は、MACDは、短期10週、長期40週、シグナル9週で設定しています。



### 3 ドS/ドMの転換

この4年間で、13回の転換をしました。

それを一覧表にまとめたものを御覧ください。

No.	日付	転換	根拠
0	H26. 9月～	ドS	
1	H27. 8. 24	ドS→ドM	MACD 下、ローソク MA 26 週線割り込み
2	H27. 11. 2	ドM→ドS	ヒスト↑、MA 13 週線ブレイク
3	H27. 12. 14	ドS→ドM	ヒスト変化、MA26 週線割り込み
4	H28. 7. 19	ドM→ドS	MA, MACD ブレイク
5	H29. 3. 27	ドS→ドM	MACD クロス, MA13 週線割込
6	H29. 5. 1	ドM→ドS	ヒスト変化・MA 26 週線ブレイク
7	H29. 7. 28	ドS→ドM	MACD ラインクロス (前週兆候あり)
8	H29. 9. 15	ドM→ドS	前週兆候+ローソク MA 26 週線ブレイク
9	H29. 11. 27	ドS→ドM	ローソク連続後ヒスト連続
10	H30. 1. 9	ドM→ドS	ローソク、ヒスト、MAC ライン変化
11	H30. 1. 29	ドS→ドM	ローソク、ヒスト2変化
12	H30. 4. 9	ドM→ドS	前週兆候+ローソク・ヒスト連続↑
13	H30. 7. 2	ドS→ドM	MA 短期線割り込み, MACD デッドクロス

転換の決定的要因は、**MACD ラインがシグナルラインをクロスしたとき**です。しかし、そのようなきれいな形での転換サインばかりではありません。すでに、実際の成績では毎日のように負けが続いているのを見ると、転換すべき時が来ているのを感じるようになりますが、転換のための根拠が見いだせない限り転換の決断には至りません。

少なくとも、ひとつ以上の根拠がなければ、単なる裁量トレードになってしまい、「ロジック」とは言えなくなってしまいます。なので、上の表の根拠の欄には**2つ以上の根拠**がそろえば、MACD ラインのクロスがなくても転換の判断をしている場合があります。

詳細は、[第8章](#)で具体的に解説いたします。



## 5. ド SM の成績

[→目次](#)

H27. 4 月	315
5 月	600
6 月	270
7 月	515
8 月	-310
9 月	1290
10 月	-335
11 月	-675
12 月	745
H28. 1 月	1415
2 月	-145
3 月	-100
4 月	1450
5 月	90
6 月	-70
7 月	-310
8 月	395
9 月	265
10 月	580
11 月	-40
12 月	20
H29.1 月	10
2 月	-210
3 月	840
4 月	-190
5 月	360
6 月	370
7 月	65
8 月	140
9 月	185

10月	930
11月	410
12月	605
H30.1月	-130
.2月	660
.3月	-40
.4月	475
5月	-80
6月	360
計	10725
1日当り	13.2

約3年間で、ミニ1枚を毎日トレードしたとして107万円の利益です。決して悪くない成績ではないでしょうか。



## 6. ドSMをどう運用するか

[→目次](#)

### 1 運用パターン

「ドSM」は、寄り引けロジックですから、前週末金曜日に週足をチェックして翌週のサインが「買い」なのか「売り」なのか判断します。割り切ってサインに従って淡々とトレードすればよいのです。

週足がすっきりと見やすくなっていればそれでいいのですが、「買い」か「売り」か判断が付きかねるときが困ります。それでも、判断しなければなりません。第4章-3の転換判断のように必ず根拠となるテクニカル指標を一つ以上確認して判断すべきです。

ただし、前週が負けだったから翌週は転換しようと、単純に判断するのはいけません。兆候としてとらえることができても、必ず納得できるロジックが伴う必要があります。

そうでないと、翌週失敗した場合後悔するからです。納得できるロジックがあって失敗したのなら、後悔はないものです。あるいは、どうしても判断が付きかねる場合は翌週はトレードを休むことが一番後悔しない選択になると思います。

### 2 運用パターン①

理想的なパターンは、前週末のサインに従って、毎日寄り成りでエントリーし、約定したら引け成りの注文を出すということを淡々と続けていくことです。

①のパターンで淡々とトレードを続けるためには、**余裕資金での運用**が条件となります。寄り引けトレードの成績が-500とか-600とか、これまで年に1, 2度起こりました。また、-200~-300くらいは1, 2か月に一度はあるでしょう。しかも、2, 3日続くこともあります。なので、ぎりぎりの運用（例えば、証拠金ミニ1枚8万円として、10万円くらいで運用するなど）では、トレードが行き詰ってしまいます。理想的には、証拠金の2倍以上、できれば3倍以上の余裕資金で①パターンが可能と言えます。

### 3 運用パターン②

パターン②は、現実的な選択とも言えるでしょう。それは、余裕資金が証拠金を少し上回る程度でもリアルトレードを始めたい方もいるでしょう。また、余裕資金が十分にあったとしても、メンタル面でどうしてもパターン①に気持ちを預けられない（信じられない）など不安な場合があるからです。確かに、シンプルトレードというものは、メンタルが強くてはできないことなのかもしれません。

#### 運用パターン②

ファンダメンタルな面に注意して、相場が大きく動きそうときはトレードを休むようにする。

これだけで、かなり不安が解消されます。海外で政治的な変動や海外市場の変動があった場合は、その日はエントリーしないか、途中でさっさと手じまいするとかの行動取ることがそれです。

ただし、これまでの経験から言うと、結果としてパターン①も②もトータルの成績ではあまり変わりがありません。それは、①でとおした場合、大きく損することがある代わりに大きな利益を上げる場合もあるからです。また、「変動」も一時的なもので、大抵の場合やがて元に戻るようになるからです。これが、デイトレードの利点とも言えます。

もし、デイトレではなく建て玉を持ち続ける長期やスイングトレードをしていれば、「そのうち戻すだろう。」と見ているうちに塩漬けとなって終には証拠金を失い、追証の催促ということもあるでしょう。しかし、デイトレの場合は、証拠金の2, 3倍さえ確保しておけばほとんど追証が発生することはありません。

### 4 運用パターン③

これも、現実的な選択肢ということになります。少々「シンプル」トレードからは離れていきます。そして、朝の5分10分の作業とは行かなくなるのでサラリーマンなど多忙な方には向いていませんが、利益重視のパターンと言えます。

## 1. 途中決済

多忙な方は、朝一で寄付きでの注文をし、約定後引け成りで決済注文を出して、後は放っておけばいいのですが、もしPCやスマホでチャートを眺める余裕があった場合、サイン通りの方向に相場が動いていないと気になって仕方がないといった状況もあると思います。

そんなときは、引け成り注文を取消して途中で取引を終えるという選択もできます。途中決済の方法は次の方法が考えられます。

- ①即座に成行で決済する。（理由：出かける場合、目標額利確の場合）
- ②指値、逆指値の注文を出す。ただし、大引までにヒットしないと、夕場に持ち込まれ、気づいたときには大きくマイナスになっていたなどということがあります。
- ③**途中決済のサイン**を待って決済する。OK流の推奨パターンです。
- ④その他

## 2. ドテン引け成り

これは、途中決済をした後それで終わらずに**ドテン注文**（買い注文を決済したら即転じて売り注文を出す。あるいは、売り注文を決済したら即転じて買い注文を出す。）を出し、約定したら引け成り注文を出して終わるという手法です。これは、上記③のつづきとして有効です。

## 3. ドテン&途中決済

これは、さらにチャートを眺めている余裕がある場合に上記2. のドテン注文・約定後、引け成りの注文を出さずに、次の決済サインまで待って決済するという方法です。

上記2, 3のトレード法ですと、2度の注文をするわけですから、時間をかけた分利益も平均して2倍ほどになっています。これまでのデータをご覧ください。

【ドSM関係成績一覧（H28.12月～H30.6月）】



月	日数	引成	途中決済 a	途転引成 b	a+b	a+ ドテン決済
H28.12月	24	20	570	550	1120	1420
H29.1月	19	10	195	185	380	155
2月	20	-210	45	255	300	535
3月	23	840	505	170	675	355
4月	21	-190	380	570	950	680
5月	21	360	180	-180	0	190
6月	23	370	600	230	830	640
7月	21	65	55	-10	45	405
8月	23	140	120	-15	105	190
9月	21	185	300	115	415	625
10月	22	930	515	-455	60	605
11月	21	410	1005	635	1640	1660
12月	24	605	445	-250	195	525
H30.1月	20	-130	450	580	1030	1030
.2月	20	660	365	25	390	1115
.3月	22	-40	640	680	1320	1420
.4月	21	475	745	270	1015	1240
5月	22	-80	130	210	340	440
6月	22	360	570	210	780	1130
計	388	10725	8545	3615	12135	14360
1日当たり		13.2	17.0	7.2	24.1	35.0

ご覧のように、途中決済の月の成績はこの1年以上マイナスになったことが一度もないことが分かります。

しかしながら、実際にはだれも毎日こんなトレードをしているわけにいかないのであまり現実的なこととは言えません。

そして、問題は途中決済のサインとはいかなるものかということになります。

## 7. 途中決済のサイン

[→目次](#)

途中決済には、以下の3つの基本的なパターンがあります。

そして、このパターンは第4章でお伝えしました週足の転換タイミングを判断する時にも使用しています。

### 1 ゴールデンクロスとデッドクロス



#### クロスの具体例

このチャートでは、寄り付き45分後にMACDもMAもゴールデンクロスしています。上のMAでは、赤の短期ラインが青の長期ラインを抜きました。

下の MACD では、青の MACD ラインが赤のシグナルラインを抜きました。

このように MA, MACD とともにゴールデンクロスするのは理想的ですが、いつもこうとは限りません。私は大抵の場合、**MACD を優先的に**見えています。

さて、今問題になっているのは、途中決済のタイミングです。この日、寄付き ¥22,425 で買いエントリーしました。このままシンプルトレードで引け成り決済のオーダーを出して知らんぷりしていても、大引 ¥22,515 で 90 円の利益でした。

このチャートでの途中決済とは、どこで売り決済するかということです。もし、MA がデッドクロスする 14:30 まで待っていたら ¥22485 決済で +60 ということですが、MACD がデッドクロスする 13:30 に ¥22520 で決済していれば、+95 の利益でした。

## 2 ヒストグラムとローソク足の連続変化

ヒストグラムは MACD ラインよりも一足先に変化をします。なので、私はローソク足かヒストグラムが変化したときに途中決済することがあります。ただし、ダマシもあるので連続で変化したときに実行しません。上のチャートで言えば、11:30 (4 本目の陰線終了時) ¥22535 付近です。+110 円で、MACD のデッドクロスで決済したときよりも 40 円多い利益となりました。もちろん、次のチャートの場合のようにデッドクロスまで待てば良かったという場合もあります。



### 3 ローソク足がMA（移動平均線）をブレイク

このチャートで、MACDがデッドクロスしたときのローソク足にご注目ください。陰線が連続したとき短期MA線（赤の線）を割り込みました。こういうとき、私はMACDラインがクロスしていなくても、途中決済することが多いです。この日は、MACDがデッドクロスしているのでおさらですね。結果から見れば、シンプルに寄り引けトレードした人が勝ったわけですが。

では、次のチャートの場合はどうでしょう。

この日の場合、結果から言えば途中決済しないで大引で決済しても-5という結果でした。チャートに貼りついて途中決済してもマイナス、ドテンしてもマイナスということです。結局、時間と手間をかけただけで終わりましたので、こういうとき改めてSimple is Best. だよなあと思ってしまいます。



とはいえ、現実にはこの日の朝のようなチャートを見ていると、つい途中決済をしたくなるのが人情ではないでしょうか。この日が寄り成りで買いエントリーの場合、1回目は陰線が2本連続したところ（9：45）、2回目は15分後の陰線3連続目、（しかもヒスト2本連続目！）ということになります。

そして、極めつけは10：30～10：45にローソク足が短期MA線（赤線）をブレイクしたときでしょう。この時は、短期線のみならず中期線も長期線もブレイクしています。ここでガマンできた人をほめようとは思いません。ここまで来て決済しないということは、次にまた同様の状況が来たとき失敗する確率が高いからです。チャートを見てしまっている限り、仕方のないことなのです。（まあ、改良の余地があるとすれば、MA線の設定を調整するくらいのことしか思い浮かびません。）

## 8. ドS/ドM 転換の実際

[→目次](#)

さて、本章はこの教材の中で最も重要な部分とも言えます。

それは、本ロジックでは一度サインが出てしまえば、毎日シンプルに寄り引けトレードをしていけばいいわけですが、問題は、「ドSなのかドMなのか」というところにあります。

週ごとなどと言わずに毎日サインを見極めればいいのではないかと考えて、データを取ったこともありましたが、結局日足よりも週足、1日ごとのサインよりも週ごとのほうが成績が良かったので、2、3か月間データを取って見ましたがやめました。

というわけで、重要なので少々見極めが難しいかもしれませんが、ドS/ドMの転換点について約3年間の全実例を通して説明していきます。難しいとは言っても、基本は前章までにお伝えしたデイトレード15分足の内容とほとんど変わりありません。

### 1 H27. 8.24 ドS→ドM

下のチャートは、2015年（H27年）の週足チャートです。古いせいか、ローソク足の数が少なくなっていますが、私が利用する証券会社で表示できる最古のデータなので、ここから説明することにします。

MACDラインはすでに6月中にデッドクロスしていましたが、MAラインは依然変動の様子はうかがえず、しかもローソク足もMAラインの上に推移していましたので、様子を見ることにします。

8月についてローソク足がMAラインを割ったところでドMに転換しました。その前2週間のドSの成績はマイナスでした。6、7月ではMACDラインが↓にもかかわらずドSの成績が良いのでなかなか転換に踏み切れません。

しかし、さすがにローソクが MA ラインを割り込んだところでは、ド M に転換します。

## 2 H28. 4.4 ド M → ド S

やはり下のチャートで①や②のところは転換のタイミングと言えそうです。しかし、短期 MA ラインが 8 月下旬以来デッドクロスして ↓ になったままの上、MACD もなかなか浮上しません。

しばらく様子を見ていますと、10 月の成績はマイナスですが、11 月から翌年 1 月までプラスとなりました。





次のチャートをご覧ください。

2月3月とマイナスが続き、いつドS転換を決断するかが難しいところです。

短期 MA は↓でも、すでに2月以来ヒストグラムが連続で↑になっていて、ローソク足も安値高値とも切り上げてきています。そこで、ローソクが陽線で短期 MA 線をブレイクしたところで、ドSに転換です（矢印）。



### 3 H28. 6.20 ドS→ドM

次のドMへの転換は、下のチャートの矢印の地点です。6月初めのローソク足がはっきりしませんが、短期 MA ラインを大きく割り込み、MACD ラインもデッドクロスしました。





バックテストによるドS/ドM転換の見極めは、ここまでです。

#### 4 H28. 7.19 ドM→ドS

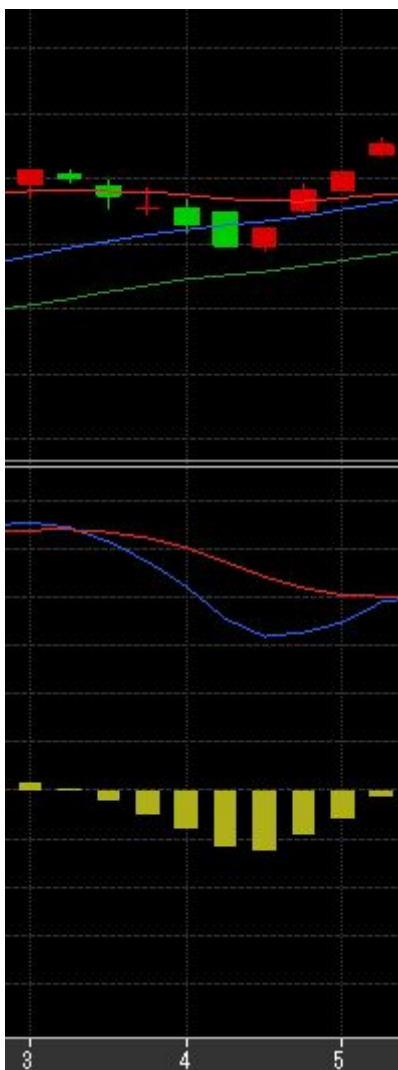
ここからは、リアルでドS/ドM転換の判断をしていきました。（バックテストにおいても、おそらくその時はそういう判断をいただろうという想定でデータを取ったことは言うまでもありません。）

さて、その後7月に大陽線が出てMACDラインもゴールデンクロスしました（**矢印**）。以後、約8カ月にわたってドS期間が続くことになりました。



##### 5 H29. 3.27 ドS→ドM

下のチャートをご覧ください。3月第3週に MACD ラインがデッドクロス しました。約8か月ぶりのMACDラインの変化でした。



#### 6 H29. 5.1 ドM→ドS

4月最終週のドMの成績がマイナスになっていたところ、陽線連続してMAラインもブレイクしましたので、MACDラインはまだ↓でしたがドSに転換しました。（下のチャート**矢印⑥**）

#### 7 H29. 7.28 ドS→ドM

ドSが3か月続いた後、MACDラインがデッドクロスしてドMに転換です（**矢印⑦**）。



## 8 H29. 9.15 ドM→ドS

下のチャートの矢印⑧は、9月第2週にドMからドSに転換したところを示しています。MACDラインはまだ↓でヒストグラムも1度変化しただけでダマシの可能性もあるわけですが、ローソク陽線が3本のMA線をブレイクしたところで、ドSの転換サインと判断しました。

それからの約2か月半のドSトレードは勝利でした。転換後の9月後半の成績は+5でしたから、ヒスト2連続した後のもう1週間後に転換ということでも正解だったと思います。



## 9 H29. 11.27 ドS→ドM

前回は分かりやすい例でしたが、次の転換が少々迷うところでした。

ローソク足陰線が2週続きました（上のチャート矢印⑨）。初めの陰線の週の成績はマイナス-235、次の陰線の週は+50でした。MACDラインもMAもまだ↑でしたが、成績不良が続いた上、ヒストグラムが連続したので、翌週ローソクが陽線に替わったものの、ドMへの転換と判断いたしま

した。  
結果，正解でした。



#### 10 H30. 1.7 ドM→ドS

その後，年が明けてもヒストグラム以外は↑が続きましたが，ドM成功の週が続きました。

12月最終週までヒストグラムは↓のままでしたので，正月第1週もドM

サインのままです。しかし、後から思えば大発会の日くらいは休むべきだったのでしょうか。見事ご祝儀相場となって、この日だけで-310。このこともあってか、ヒストグラムが上向きましたのでドS転換しました。（上のチャート矢印⑩）

#### 11 H30. 1.29 ドS→ドM

前回の転換は失敗でした。

ドSが良かったのは正月の初めだけで、その後はマイナスの週が続きました。そこで、ローソク足の2度目の陰線（上のチャート中 矢印⑪）が出て、ヒストグラムが再び↓になったところでドMに転換することにしました。

#### 12 H30. 4.9 ドM→ドS

3月最終週にローソク足大陽線が出て、この週の成績は大きくマイナスとなり、結局月の成績もわずかながらマイナスで終わってしまいました。

4月第1週からドS転換してもよかったのですが、MA短期ラインがデッドクロスしようとしていた上、MACDラインが依然↓でヒストグラムもローソクも1変化なので1週間待ってのドS転換です。（下のチャート矢印⑫）

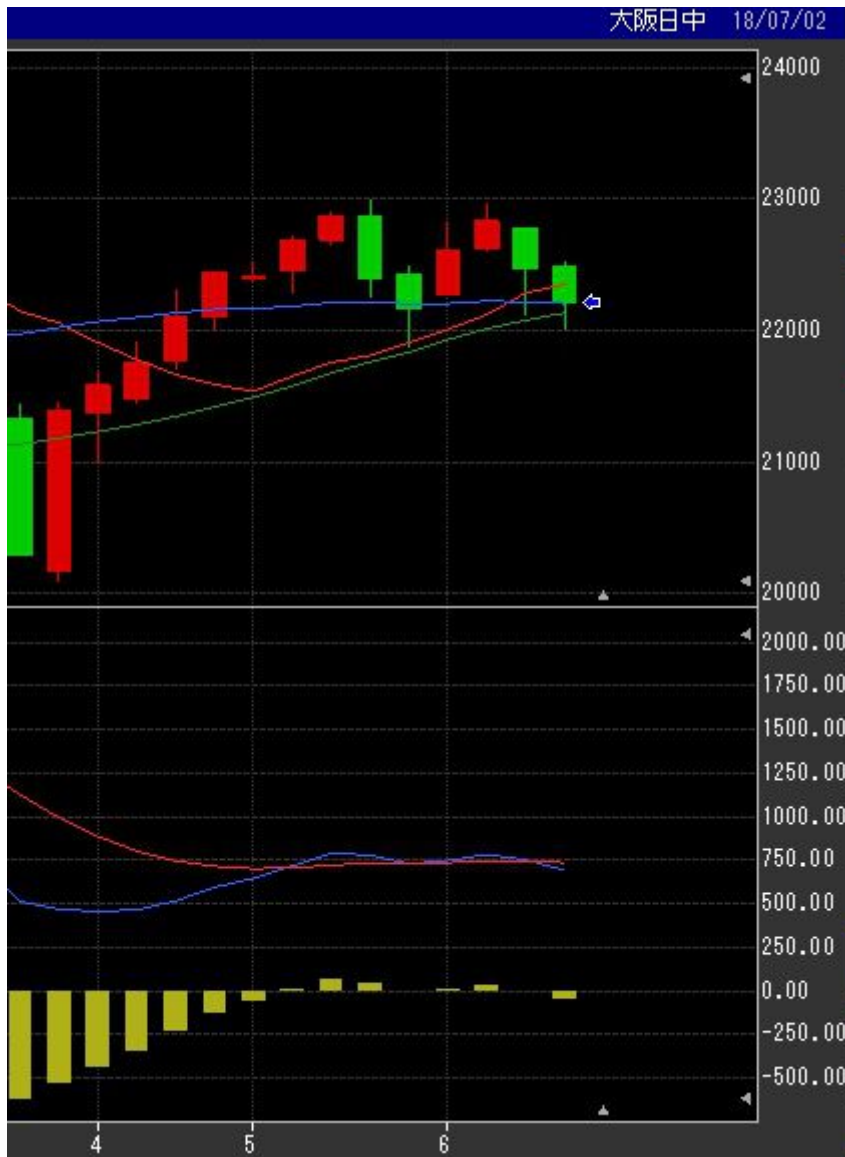




### 13 H30. 7.2 ドS→ドM

5月、6月の2か月間の週足はご覧のようにぐずぐずとしたものでした。6月最終週にローソク足陰線がMAラインを割り、MACDがデッドクロスしたと見て、7月第1週はドMと判断しました。





以上、ドS/ドMの転換について説明しましたが、微妙に1, 2週間のずれを感じる転換もあったと思います。それは、あくまでもロジック（説得力のある根拠）に従うことを原則にしたことによります。なので、実際にはトレーダーのあなたが納得のいく判断をされるとよいと思います。

例えば、「たとえ前週のマイナスがあったにしてもかたくなにヒストグラム連続変化を待つべきだ」とか、「テクニカルな面だけでなくファンダメンタルな面（例：大発表）も考慮すべき」などが考えられます。

## 9. トレードの実際

[→目次](#)

### 1 寄り引けトレード

日経 225 超シンプル寄り引けロジック ド SM の真骨頂は、文字通り「超シンプル」にあります。したがって、最もシンプルな寄り引けトレードが基本です。以下に、毎日のトレードの手順を紹介します。

#### ①今週の売買サインを確認します。

前週金曜日の大引（15:15）後、週足（日中）を見て、今週のド SM サインを確認します。（前章を参考にしてください。）

週の途中で変更するようなことがないように、しっかりサインの根拠を抑えておきましょう。

もし、そのサインに対し後悔するようなことになった時のために、このことは必ず必要なことです。週ごとにロジック（サインの根拠）を変えていたら、それはすでに「ロジック」とは言えません。

変えるときは、過去に遡ってデータを取りなおす必要が出てきます。自動売買にできるような単純なロジック（例えば、ゴールデンクロスとデッドクロスのみ）であれば、機械的にバックテストを行うこともできるでしょうが、そうでなければ手作業でデータを集めることになって、結構な作業になります。

#### ②8:45 前に、寄り成りの注文を入れます。

「買い」サインならば、月曜から金曜まで毎日「買い」の注文です。「売り」サインなら毎日売り注文ということです。

#### ③約定したら、引け成りの注文をします。

#### ④15:15 に寄り引けトレードの結果

の知らせがメールで入ります。

## 2 途中決済 (& ドテン注文)

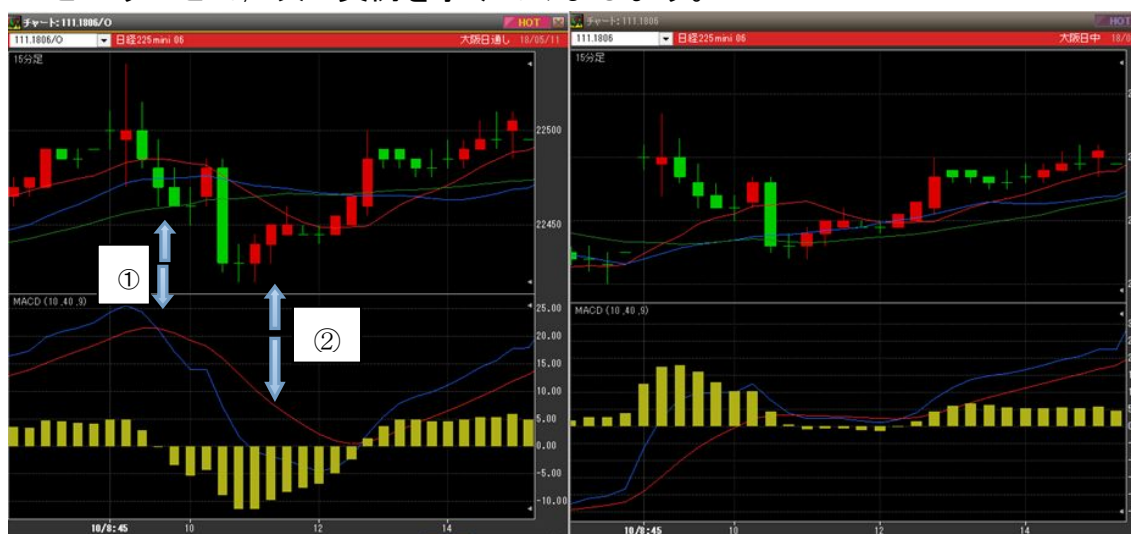
ド SM は、人によっては少々怖いトレードとも言えます。引け成り注文を出してから約6時間余り「成り行き任せ」にするわけですから。たとえ私がこれまでのデータをもとに説明しても、それはあくまでも平均のことであり、また、いつまた最大ドロダウのようなことが起こるか誰もわからないから怖いのです。(もちろん私も、これまでのように平均的な価格で動くという保証はできません。)

6時間もの間、任せっきりにできる方は、度胸があるとも言えるし、危なっかしいようにも思われます。まあ、初心者というか大方の凡人は、つい任せっきりにできず、パソコンを開いてチャートを見てしまうのではないのでしょうか。

そのとき、相場が期待した方向に動いていればウキウキですが、逆の方向であれば心は穏やかではなくなります。

そういう時のために途中決済という選択肢があるといってもよいでしょう。そういう時というのは、別の言い方をすれば「リアルチャートを見る時間がある。」ということ。時間があるのなら、より多く稼ぐために「シンプルでない」トレードをするのもいいでしょう。

ということで、次に実例を挙げてみましょう。



チャートを2種類並べてあります。右が日中、左が日通しです。主に左の日通しチャートを見ていきます。

この日、寄り付きで買いエントリーしていました。

ローソク陰線 2, 3 本目 9:30~10 時ころ、陰線が連続し且つ MA ラインを割りました。ヒストグラムも連続で↓となり、MACD ラインもデッドクロスしました。(矢印①) ここが、途中決済ポイントです。寄り付きから-30 でストップをかけたこととなります。

ここで終わってもいいのですが、即ドテンして引け成りで終わることもできます。即ドテン売りして引け成りで終わった場合、この日は失敗で、-25 で終わりました。計-55 という成績でした。途中でチョッカイ出さずに、シンプルに寄り引けのド S で任せていれば-5 で済みました。

### 3 途中決済&ドテン注文&途中決済

もしさらに時間があるのならば、上記のようにドテン引け成りの注文を出して、また任せっきりにするのも心配です。しかも、この日のようにマイナスで途中決済したときは悔しさが残ります。そこで、引け成りの注文を出すのではなく、さらに見守って適当なところで決済することもできます。

この日の場合、再び上がり始めた 11:30~11:45 (矢印②) の陽線連続・ヒストグラム連続のところでは、ローソク連続やヒスト連続が優先です。MA ブレイクや MACD ラインクロスを待っているとチャンスを逃してしまいます。この日、11:45 で決済していれば、ドテンの結果は+20 でした。計-10 でそれでも、寄り引けのド S に負けていますが。

### 4 日中チャートの活用

ところで、なぜ日通しチャートを見ていくのに、隣に日中チャートも表示させておくのかということの説明します。

それは慎重を期すためです。上の右側の日中チャートをご覧ください。日通しでは MACD ラインがデッドクロスしていたのに、こちらではついにクロスしないで再び浮上してしまいました。

もし、9:30頃からの約2時間我慢できていれば、途中決済せずに済んだかもしれません。

このように、2種類のチャートを並べておくと慎重になれるのです。（慎重なためにトレードのチャンスを逃すということもありますが。）

## 5 途中決済等の成績

それでも、[第6章](#) 4-3の成績表をご覧になれば、平均して言うならば、ドSMよりも途中決済、途中決済よりもさらにドテンしたほうが成績が良くなっています。時間をかけるのであるから当然といえば当然とも言えます。



## あとがき（シンプル 225 の王者は？）

下に示した表は、私の開発しました3つの225ロジックの成績を比較したものです。本書では、「ロジック S」については触れていませんが、これは私が最初に発見したシンプルロジックです。やはり寄り引けのロジックです。

「S」が最も古いので、データもそれだけ他の二つのものよりも多く、データの信頼性も高いといえるでしょう。ここでは、もっとも新しい（＝データが少ない）「ド SM」に合わせて、1年半（409 日間）のデータを比べています。

これら3つのロジックの中で最もシンプルなものと言え、当然「ド S」です。しかし、寄り引けトレードだけで比べると、成績のトップは「ド SM」となります（**ピンク**のセル）。これをお伝えしたいがために本書を公開したわけです。

しかしながら、本書でも紹介した「途中決済」「ドテン引成り」「ドテン&途中決済」（下の表で、「MM」とは MA・MACD の略で「途中決済」, 「途転」は「ドテン」のこと）について、それぞれの成績を比べますと、S やド S のほうが勝っているようです（**黄色**のセル）。

淡々とド SM の寄り引けトレードを続けることが最もシンプルですが、ド SM には、ド S / ド M 転換のサインに少々悩まなければなりません。場合によっては、悩まずにド S 一点張りでエントリーして、だめならドテン引成り注文を出すというトレードも考えられます。

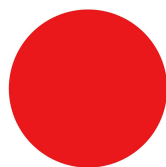
いずれにしても、あなたにとってのベストなトレードとは、あなたの状況・条件等に応じたトレードスタイルを見出すことにかかっているのです。本書がその一部でも役に立つとすれば、私にとって大きな喜びとなります。

今後、バージョンアップなど、できるだけ私からの情報を発信続けたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

月		F S			F SM			S		
		寄引	MM 途転 &引成	MM 途転 &MM 決済	寄引	MM 途転 &引成	MM 途転 &MM 決済	寄引	MM 途転 &引成	MM 途転 &MM 決済
H28.12 月	24	20	1120	1420	20	1120	1420	-250	1370	1315
H29.1月	19	10	380	155	10	380	155	410	720	400
2月	20	-210	300	535	-210	300	535	-330	1120	790
3月	23	20	390	485	840	675	355	510	140	325
4月	21	190	-330	-20	-190	950	680	250	100	360
5月	21	360	0	190	360	0	190	340	290	460
6月	23	370	830	640	370	830	640	165	15	95
7月	21	75	75	450	65	45	405	-160	-230	90
8月	23	-140	240	260	140	105	190	230	-110	0
9月	21	-175	-45	160	185	415	625	675	305	540
10月	22	970	60	605	930	60	605	110	330	650
11月	21	370	1640	1660	410	1640	1660	-90	515	345
12月	24	-550	735	890	605	195	525	85	385	800
H30.1月	20	-370	1490	1620	-130	1030	1030	-280	1210	1450
.2月	20	-340	1770	2560	660	390	1115	-630	2510	2805
.3月	22	40	1160	1825	-40	1320	1420	490	1110	1375
.4月	21	1095	1555	1240	475	1015	1240	900	1050	1325
5月	21	-80	340	440	-80	340	440	830	760	885
6月	22	360	780	1130	360	780	1130	-195	1335	1155
計	409	2015	12490	16245	4780	11590	14360	3060	12925	15165
1日当たり		4.9	30.5	39.7	11.7	28.3	35.1	7.5	31.6	37.1

**※注意！**

私は、投資顧問の専門家ではありません。本書は、私のトレード経験にもとづいて執筆したものであります。本文中のデータにもありますように、私の経験から見出した「ロジック」は完璧なものではなく、今後もこれまで同様の利益を獲得し続けるとは限りません。また、資金管理等のやり方次第では、「ロジック」どおりに行かないことは言うまでもありません。以上の理由から、あなたがこれからリアルトレードをした結果、その利益を保証するものではありません。また、損失に対しても責任は追いかねます。どうか、ご自身の責任で慎重にトレードしていただきたいと思います。



simple225